

令和6年度事業報告

[総括]

総務省の統計によると、2022年の65歳以上の就業者数は912万人で過去最多を更新しました。生産年齢人口の減少に伴い、高齢者の働き手が人材不足を補う重要な役割を担っております。また、雇用制度の充実により、高齢者の就業環境が改善され、就業者全体の7人に1人が高齢者となっております。

一方、今年度は120年あまりで最も暑い年となり、気象庁が発表した国内平均気温は過去最高値を記録しました。この影響で屋外作業を希望する会員が減少する傾向が見られました。

その中で、就業による事故件数は、前年度よりも増加しており、草刈りの石飛による事故が多く発生しました。

10月には、シルバー元気祭りをゆりの里で開催し、ステージ発表や直売市、子供縁日などで賑わいを見せた中、キャッシュレス決済を導入しました。

受託事業は、企業からの依頼減や施設の改修等による休業などが影響し、前年度対比95.3%となりました。また、派遣事業につきましては、新規受注や会員の補充などにより4年連続で1億円を超ましたが、年度後半に伸び悩み、前年度対比99.1%の結果となりました。

1 会員拡大

女性会員を増やすために設置された女性活躍チーム『すみれの会』は、本年度から本格的に活動を開始しました。枝豆栽培や防災講座などを通じて地域社会への貢献を目指し、特に防災講座では15名が参加し、安全意識が向上されました。また、活動内容をインスタグラムや広報紙『萌木だより』で発信したところ、女性会員からの問い合わせが増加するなど、好評を得ました。

2月には、初めて事務所以外の三国・丸岡・坂井地区で出張入会説明会を開催したところ、女性10名に参加いただき、新規会員を獲得しました。

しかしながら、年度末時点の会員数は、病気や加齢等の理由により退会を余儀なくされ、昨年度比で10名減の979名となりました。

2 就業の増強

本年度から会員からの発案で始まったシルバー独自事業のデジタルゲームが、各イベントで活用され、多くの利用者から高評価をいただきました。

また就業におけるデジタル機器の利用促進のため、LINE を利用した就業情報の提供や会員からの完了報告・写真のやり取りが進み、時間を気にせず情報発信や確認ができるようになりました。今後もデジタル化に向けて、スマホ利用を促進していきます。

会員の年齢構成では、80 歳以上が 191 人で、昨年度の 165 人から 26 人増加しており、全体の 19.5% と 2 割近くを占める状況になりました。高年齢者の会員が安心して働く就業の場の確保に取り組んでいくことが求められています。

受託事業の受託件数は、昨年度に比べ 6,571 件と 470 件減少し、契約金額は 4 億 2 千 5 百万円と昨年度より 2 千 1 百万円減額となりました。

派遣事業は、今年度も新規の受注を獲得しましたが、企業からの受注の影響により、契約金額は 1 億 2 千 7 百万円と 1 百万円の減額となりました。

3 安全就業への取り組み

今年度も昨年度に続き猛暑が続いたため、会員に『萌木だより』や携帯ショートメッセージを通じて注意喚起のお知らせを行い、安全パトロールによる現場での声掛けを実施いたしました。令和 6 年度の事故発生件数は 16 件（昨年度 13 件）となり、昨年度に比べ 3 件増加いたしました。内訳は、傷害事故 8 件（昨年度 9 件）、賠償事故 8 件（昨年度 4 件）と、賠償事故が増加していますので、抑止されるよう努めています。

4 財政基盤の確立

福井県の最低賃金の改定に合わせ、坂井市にセンター配分金の単価の改定をお願いし、令和 7 年 4 月から採用しました。

また、フリーランス法やインボイス制度への対応として、発注者への周知活動を行い、情報提供と理解促進に努めました。